



くりやがわ・りゅうこ 1972年、三戸町出身。会社員を経て2010年、ノースブレeds農園(現ノースブレeds)を創業。15年に東北ニュービジネス大賞の「ソーシャルアントレプレナー大賞」を受賞。八戸学院地域連携研究センター客員研究員

ノースブレeds(≡)代表
栗谷川 柳子さん(46)

八戸圏域

未来考動

中核市連携中核都市圏

起業したノースブレedsのミッション、存在理由は「地域の宝となる原産品を掘り起こし宝に変える」。1次産業に従事する人の収入を高めたい。生活者が地域の野菜に触れる場をつくりおいしさを知ってもらい、さらに購入につながれば。

起業家つなぎ連合体へ

規格外野菜を首都圏に卸す事業、県産野菜を中心に扱う飲食店の経営を経て、現在は2015年にオープンした「きたむら茶屋」(南部町)を拠点に、地域の食材を使った料理を提供し、ほかの起業家の助言や支援をしている。南部町に出店した際は、これまで飲食店を出した奥入瀬溪流、八戸市中心街から、郡部へ人の流れをつくることを意識した。自分の店を含め、3カ所、面白い店があれば、都市部から人が訪れるきっかけになる。みんなで点と点をつなぐって、つないでいけたら。起業前、八戸学院大関連の起業家養成講座を修了した。これまで何人もの修了生がいて、それぞれいろいろなことができる。力を出し合えるように、小さな起業家のゆるやかな連合体、コミュニティをつくり、存在感を出していきたい。

地域の起業家は、地域の課題を解決するため事業を立案し資金を集めて結果を出そうとしている。行政もベンチャーの気質、感覚を持ってほしい。地域の課題はどんどん生まれ、対策を打っていかないと追いつかない。新しい仕組みをつくりたいし、起業したい人が「自分もやれる」と思える目印になりたい。

(聞き手・新村菜穂)

※随時掲載します。